

希望

東京市道路局長 丹 羽 鋤 彦

道路改良會は道路改良に關し從來之れが宣傳及講演等に依つて其急務たるを一般に理解するやうに御盡力になり、又講習會を開設せられて道路行政並に道路技術者を養成される等國家の爲め非常に結構な事と感謝して居るのであります、其後幾多の事實は其宣傳に充分なる證明を與へ今日に於ては誰人でも此道路を現状の儘にして置くことが出来ないと言ふことを能く了解された事と思つて居ります、元來日本では道路改良の後れたるは第一日本の風俗の關係から、語り家の内と家の外とは全く別に考へて居つた結果として、道路の悪いと言ふことが家庭上に於いて左程に苦しみを感じなかつたのが一つの原因であらうと思ふ、第二には昔から道路を利用することが單に歩行するとか、又は軽い荷馬車で荷物を運ぶ位であつて、重い荷車や自動車などの通ることについて考が足らなかつたから今日までは簡單な砂利道か又は砂利も無いやうな道でも我慢が出来て居つたのである。然るに近年自動車が非常に急激に發達して來た爲め最早從來の構造では其破壊力に堪えることが出来ないやうになつて來て俄に狼狽を始めたのであります、此傾向は獨り日本ばかりでなく外國に於ても同様で、自動車の發達以來路面の構造を考慮する上に於て非常なる變化を來したことは事實である、唯外國にては以前から路面其ものに對しては注意を拂つて居つた結果として、自動車が發明された以後も大いなる苦痛無しに段々時勢の必要に伴ふやうに改良して行くことが出来たけれども、日本の最も不完全なる道路から一足飛びに完全なる道路に飛ばうとするのであるからそこに

非常の困難が生じて來たのであります、又一方に日本では鐵道萬能主義に誤まれ物資の輸送は總て鐵道の力に依るかの如く考へ道路は全般の輸送上に大いなる貢獻をすることがないやうに誤解された爲に、鐵道の開通以來と云ふものは、道路の改良建設に關して餘り重きを置かれないやうな傾向があつたから一層道路の仕事が後れて來て居つたのであります、所が段々鐵道が開通した今日に於て運輸系統上大幹線たる用途は充分に達することが出來たけれ共各停車場に集散する貨物は是非共地方的各方面に連絡する道路に依らねばならぬのみならず各地方に於て無暗に鐵道新線を殖やすことは經濟上困難であるから其補充は矢張り道路の改良新設に待たねばならぬことが明らかになつた、又總ての荷物輸送を鐵道に頼まうとする結果鐵道輸送力に不足を來たし貨物停滯となり最早鐵道ばかりに頼ることが出來ないから自動車を使用して其不足を補ふ必要を生じ殊に近距離輸送に於ては一層其便利を認めたる結果近來盛に自動車を貨物運輸等に使ふやうになつた、所が道路は之に伴ふことが出來ぬと云ふ困難に陥つたのである、此状態は私共が申上げる迄もなく一般に能く御承知の通りであるが、さう云ふ結果として地方に於ても相當自動車の交通に堪へ得る道を通じ、殊に市街地に於ては頻繁なる自動車の交通に堪へ得る道を拵える必要が生じて來たのであります、そこで地方の道路の事は先づ差措いて、充分自動車の交通に堪へべき所の市街道路に對して御話を申上げますれば、東京市に於ては年々一萬五千坪以上の砂利を用ひ、貳百萬圓近くの經費を投じて、砂利道維持に骨折つて居るけれども依然として惡道路たることを免れることが出來ないのである、是は何故かと云ふと以前には是よりも少い經費であつてもどうか道らしい状態を保つことが出來たけれども、今日の如く自動車が殖えた以上は此砂利道では到底いかぬと云ふことが發見されたのであります、勿論今の經費で主要なる道には相當の砂利を敷けるけれども自動車は破壞力に堪へ得るやうに出來ないのである、試みに此丸の内の附近に於て相當自動車の通ずる處に於て稍々完全に路面を維持しやうと思つて砂利を使つて見た所が、三日目に一度位小修繕を施し砂利を撒布しなければ今の自動車の交通に

對して道らしき状態を維持することが出来ぬと云ふ事を發見した、併し全市の主要なる街路に對して三日に一度つゝ修繕を加へて砂利を撒くと云ふことは經費が許さないし又事情も許さないものであるから、否でも應でも完全なる鋪裝工事を施すより外に策がないやうになつて來た、それで東京市は一昨年から經費三千九百五十萬圓を以て六間以上の街路鋪裝を始めまだ工事の初期であつたが幸ひ着々進歩しつゝある所で今度の震災に罹り一時工事も中止と云ふやうな悲境に陥りました、其後道路の修繕を怠つた儘三ヶ月經過した今日の状態を見るに兎に角鋪裝をした處は震災の爲に多少の被害を受けて居りますが、震災後に於て尙ほ道として稍々完全に使はれて居るに拘らず、鋪裝工事をして無い區域に於ては目も當てられないやうな哀れな状態に破壊せられて仕舞つたのであります、そこで私共が今日最も心配を致して居るのは今度の震災の爲に自動車の数が一躍非常に殖えた結果起るべき路面の破損である、東京市の電氣局に於ては新しく千臺の自動車を輸入して旅客の輸送を補はうと活動を始め、鐵道省は三百臺の貨物自動車を輸入して更に小運送の便利を圖らうとする、其他民間に於ても復興事業の爲に澤山の自動車が殖えて來た、從來の自動車の數に於ても既に路面が堪えられなかつたのに、新に増加せし大多數の自動車が頻繁に往復する時はどうしたらば交通に支障なき程度に路面を保護することが出来るかと云ふことに付ては非常な心配をして居るので、寧ろ今年の梅雨時期になつたならば殆ど拾收すべからざるやうな哀れな状態になりはせぬかと思つて居るのであります、又一方には修繕材料の砂利の供給であります、復興物資供給の爲に今後鐵道の輸送力が一層制限せられ假令金があつても以前のやうな工合に潤澤に砂利を集めることが出来ない従つて修繕に必要な砂利を配給することが困難である、殊に燒失區域に於ては灰燼を片付けてしまつた後に於ても、尙ほ道路の上には踏付られた儘に幾らかの灰土が残り雨天の際には泥濘となり修繕には普通以上の砂利を要する譯である、さう云ふやうな次等で従前よりも余程悪い状態の路面に對して交通は非常に頻繁になる、さうしたならばどうして此の道を維持することが出来るかと云ふ事は殆ど見當が付

かないやうな有様である、之を救済するには舗装の改良を施行するの外なしと思ふのである、世間では舗装工事と云ふものは贅澤であるやうなことを言ふ人もあるが田舎の道路や自動車の交通しない處であれば舗装せずして我慢が出来得るけれども、東京のやうに自動車の多い處に於ては舗装工事と云ふものは決して贅澤でも何でもなくして是は必要已むべからざるものになつて來たのであります、それで此際震災の後で國力の疲弊して居る時に甚だ苦しい事ではあるけれども、官民協力して舗装工事をすん／＼進めて行くと云ふことは帝都復興に關し物資配給の點からも運賃軽減の點からも最も必要と思ふのである、定めし復興院に於ても此點に付ては充分御考慮になつて居る事とは考へて居るが承る所に依れば主要幹線は舗装があるけれども、十八間以下の道路に對しては舗装計畫は未だ充分確定して居らぬやうに聞いて居る、若し此舗装工事を考へずに大多數の道路を現在通りの砂利道の儘に捨て、置くと云ふことになつたならば是は交通上實に由々敷問題であると思つて非常に心配して居る、是非共此際自動車の交通を許す範圍の街路に於ては舗装工事を同時に施行するやうに骨を折つて貰はなければならぬと考へて居るのであります、それから又震災後に於て特に吾々の感じて居る事は地下埋設物の掘鑿が非常に多くなつたことである、是は御承知の通り水道管瓦斯管の如きは皆管の接手が弛んだ爲に水や瓦斯が漏出するから目下道路を掘返して接手を調査して居る、是は全市に涉り何處に故障を生じて居るか分らぬ爲に殆んど總てを掘返し検査することになつて居る、電信電話電力電燈等の地中電纜も震災の爲め生じた故障の調査、若くは震災後に於ける改良増設の爲め平常に比し多數に路面を掘鑿しつゝある實況であります、従つて震災前に比し震災後に於ては地下埋設物の爲め特に面路を破壊することも一層甚だしく前に申上げたやうに交通の爲に壞されるばかりでなく人爲的に壞すことが又非常に多いのであるから此際地下埋設物の整理も充分考慮を要する問題である、復興院に於ても既に是等の計畫があるやうに聞いて居るが、此埋設物整理と云ふことは中々難問題であるから果してどう云ふ工合に整理するのが適當であるか充分なる講究を要する事である

と思ふ、併ながら研策を要する事であると云ふて捨て、置くことは出来ない問題であつて、速に適當の方法を定め相當な經費を投じ此解決を促すと云ふことは最も必要な事と思つて居るのである、更に進んでは市街地の中に多數の電柱を立て、路面の交通を防げて居る状態は永久に存続せしむべきものではないから、此際は等の整理も亦た考へなければならぬ點である斯うして考へて見れば震災後の東京、横濱に於ては復興の門出に當り單に道路に關する事柄だけでも既に多數の問題に出會ひ、且つ急速實行の必要に迫られて居るのであります、此等の問題は獨り東京、横濱に限さられたものではなく路面鋪裝は勿論其交通量の増加の爲に、或は地下埋設物の整理の爲に生ずる幾多の困難は、總べて全國に共通の問題であります其の中で最も研究を要するは工事の程度と經費の點である、幸ひ政府に於ては鋪裝の普及を謀る爲めには工事費に對し相當な補助をすることに決定して居るから、此際各都市に於ても是等の鋪裝、改良の爲に必要な經費を吝まずに支出することを考へると共に、街路の状況に應じ餘り金の掛る仕事のみを考へないで、經費が安くして且つ相當耐久力有る鋪裝方法を考へ普遍的に廣く施行することに勉めねばならぬと思ふ、言換へれば總ての道を鋪石道にするとか、若くは鋪木道にするとか、或はアスハルト道にすると云ふことばかりでなく場所柄に應じもう少し安い施工法を講ずることが必要である、即ち簡易鋪裝の方法として瀝青應用の砂利道又は碎石道の研究である、此比較的安くして稍完全なる道造る方法に付て改良會に於ても充分なる御研究を煩はしたい、又コンクリートの種類なども此道路鋪裝の上に於て相當なる効果のあるものと考へて居る、場所に依つては充分使ひ得ると思ふ、要するに道路に關しては是迄一般の人が甚だ冷淡であつて、隨つて是等に付ての研究がまだ不充分であるから、如何なるものが共通的に最も日本の國情に適して居るものであるか、或はある地方の仕事に對してはどう云ふものが適して居るかと云ふやうな具體案に付て尙ほ各地方の調査を集めて、比較研究の上一定の方針を與へ其地方に於ける道路改良の的確なる意見を定める得るやうに御盡力を願ひたいと思つて居る次第であります。(終り)